

オリンピック招致に反対します

他にやることあるんじゃない？

2016年のオリンピック招致を山崎市長が突然打ち出し、準備に乗り出しています。

オリンピックを開催するには競技会場として少なくとも約30施設(屋内、屋外、プールなど含め)の他、メイン競技場、選手村、運営施設、プレスセンターなどが必要になります。さらに、選手や大会役員の移動手段としてのアクセス道路や鉄道なども必要になり、ばく大な財政負担が見込まれます。

招致活動費について、山崎市長は「一銭もいらぬ」と述べていましたが、すでに2005年度4900万円が使われ、来年度予算には一億数千万円が計上されます。夏季オリンピックに立候補した招致できなかった大阪市では、ムダになった招致費用48億円に、市民の怒りが広がっています。

さらに、「都心の再生は、五輪ができなくても進めていきたい」(山崎市長)、「都市計画には積年の夢がある。オリンピックという力を借りてやる」(市主催シンポジウム)など、オリンピックが招致できようと思えばと開発を進めていくという「都心開発はじめにありき」の姿も見えてきました。招致活動費や施設整備費、その上、都心再開発となれば、いくら税金がつぎ込まれるかわかりません。

現在、2兆7,000億円の借金をかかえている福岡市が、オリンピック招致のための財政負担に耐えられるはずがありません。冬季オリンピックを開催した長野市では、施設整備費と道路建設費などでふくれあがった借金の返済のために、市民負担が増やされようとしています。福岡市のホームページには、市民から「なぜ福岡でオリンピックかわからない」「ムダづかいはやめろ」「子どもたちの将来に大きなツケを残す」「市民の意思確認がされていない。住民投票をすべき」など反対や懸念の声が次々と寄せられています。しかし、市長はまたも市民の意見も聞かずに勝手に進めています。

山崎市長が今やるべきことは、地震対策、福祉・教育の充実など、市民の安全と暮らしを守ることであり、孫子の代まで借金を残し、市民生活をめちゃくちゃにするオリンピックは招致すべきではありません。



【請願事項】 オリンピック招致はやめること

福岡市議会議員 妹尾俊見 殿

2006年 月 日

氏名	住所	印

署名はどなたでもできます。(市民でなくても結構です、有権者でない方も歓迎します) 鉛筆でなくペンでお願いします。 印はなくてもかまいません。 この用紙をコピー、ファックスしてご使用ください。 署名用紙は郵送かご持参でお届けください。(恐れ入りますが、送料はご負担ください) 署名活動への参加希望は下記まで

【取り扱い団体】

福岡オリンピック招致に反対する会

〒812-0044 TEL092(651)3220
福岡市博多区千代5丁目18番1号 ちどりビル4F
福岡医療団(市民が主人公の福岡市をめざす市民の会・古賀)